

平成 28 年 5 月 18 日

## 多重債務相談の受付状況（平成27年度）

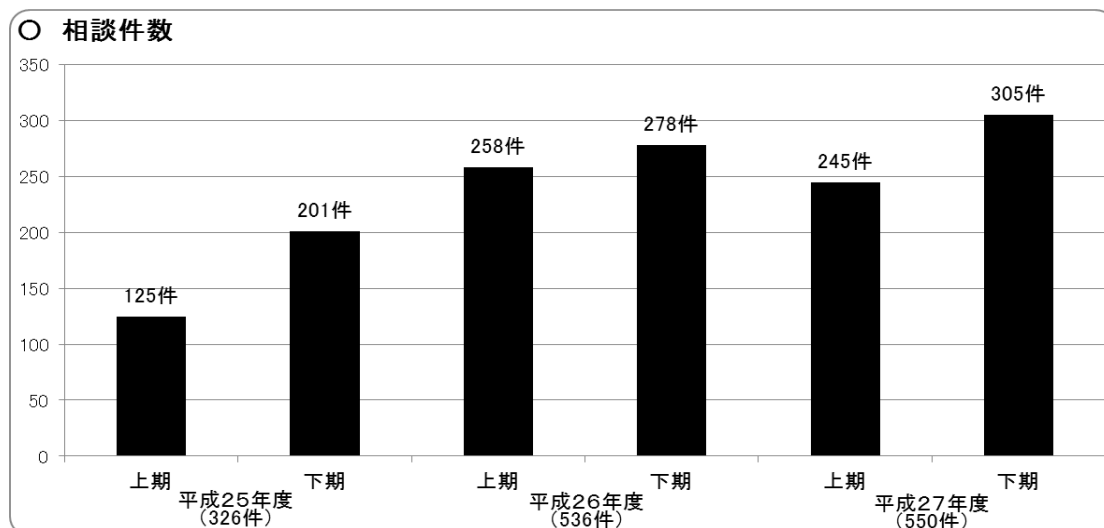
近畿財務局における多重債務相談の相談件数は、生活困窮者自立支援法の施行（27年4月）に伴い、地方公共団体の生活困窮者自立支援相談窓口との連携強化や、多重債務相談窓口の周知を図った結果、前年度比で微増。

## 【概要】

- 平成 27 年度の相談件数（550 件）は、前年度（536 件）と比べて微増。
- 「相談に訪れたきっかけ」をみると、「多重債務相談窓口を案内するリーフレット」（214 件）が最も多い。また、地方公共団体の生活困窮者自立支援相談窓口との連携強化（※）を図った結果、「地方公共団体からの紹介」が 103 件と前年度（65 件）と比べ大幅に増加（別途、地方公共団体の担当者からの相談 23 件あり）。

## ※ 生活困窮者自立支援相談窓口との連携強化

近畿財務局では、地方公共団体の生活困窮者自立支援相談窓口の担当者向け出前講座・説明会を開催（平成 27 年度：24 回（49 団体）実施）するなど、地域連携の強化を図っています。



## 【近畿財務局の多重債務相談窓口】

借金の問題は、あなたの決意次第で解決します。

一人で悩まずに、ぜひ、ご相談ください。相談は無料です。

◎ 受付時間 月曜日～金曜日（祝日を除く）9時～17時

◎ 電話番号 06-6949-6523、06-6949-6875

## 【相談事例】

### 事例1 生活困窮者自立支援相談窓口を紹介（40歳代・男性）

#### 【相談内容】

3年前に、私は亡父の事業を承継したが、思うように業績が振るわず、金融機関からの事業性資金の返済も滞り、担保の自社工場が競売処分された。

私は家業を廃業して、新たな勤め先を探しているが、未だに見つからない。競売処分後の残債の支払いを延滞しており、居住アパートの家賃すら支払えず、退去を求められている状況。

ハローワークで、近畿財務局の多重債務相談窓口を案内するリーフレットを手にした。

#### 【相談への対応】

残債が多額であり、現状では返済のめどが立たないことから、4つの債務整理の方法のメリット・デメリットや民事法律扶助業務<sup>※</sup>等について分かりやすく説明の上、法テラスを紹介。また、仕事が見つからず、住居に窮していることから、市役所の生活困窮者自立支援相談窓口を紹介。

※ 民事法律扶助業務とは、経済的に余裕がない方が法的トラブルにあった時に、無料で法律相談を行い（「法律相談援助」）、弁護士・司法書士の費用の立替えを行う（「代理援助」「書類作成援助」）業務。

### 事例2 教育ローンと奨学金の返済困難（50歳代・男性）

#### 【相談内容】

5年前に、私は亡妻の入院費等に充てるため預貯金のすべてを取り崩してしまい、息子の進学資金のため、教育ローンを借入れるとともに、息子も奨学金の貸与を受けて通学していた。

しかしながら、息子は事情があって学校を中退し、その後、思うように職に就けず、現在はフリーター。私は息子の連帯保証人として奨学金を返済していたが、半年前の交通事故により転職せざるを得ず、収入が大幅に減少したため、教育ローンと奨学金を返済できなくなった。

どうしたらよいか分からず、区役所の生活困窮者自立支援相談窓口へ相談したところ、近畿財務局を紹介された。

#### 【相談への対応】

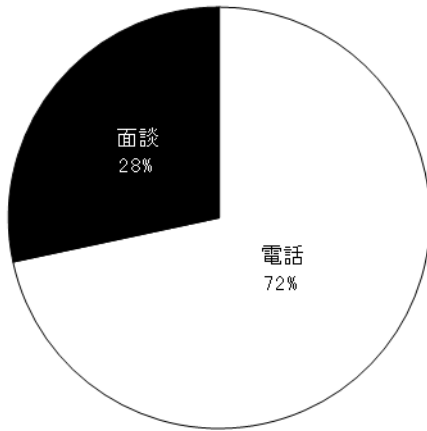
新たな職に就いて借金を返済する意思が強く、月々の返済額減額についてアドバイスを求められたため、教育ローンについては、金融機関に返済条件の見直しを相談するとともに、奨学金については、減額返還や返還期限猶予の制度があることを説明し、返還先に事情を詳しく説明するよう助言。併せて、4つの債務整理の方法のメリット・デメリットや民事法律扶助業務等について説明した。

### 【多重債務相談の流れ】

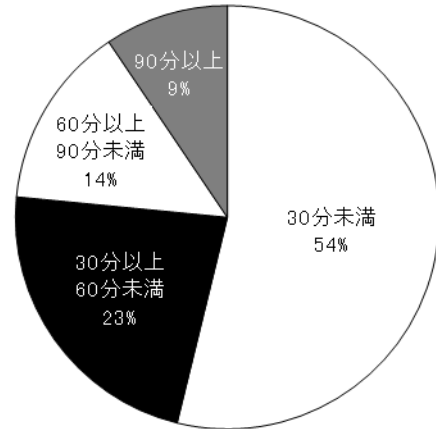
- 相談者の借金の状況等を詳しくお聞きして把握し、4つの債務整理の方法（任意整理、特定調停、個人版民事再生、自己破産）のメリット・デメリット等について説明します。
- 法的解決を図る必要がある方には、弁護士会や法テラスを紹介し、生活に困りごとや不安を抱えている方には、生活困窮者自立支援相談窓口も紹介するなどしています。

## 1. 相談方法・時間等

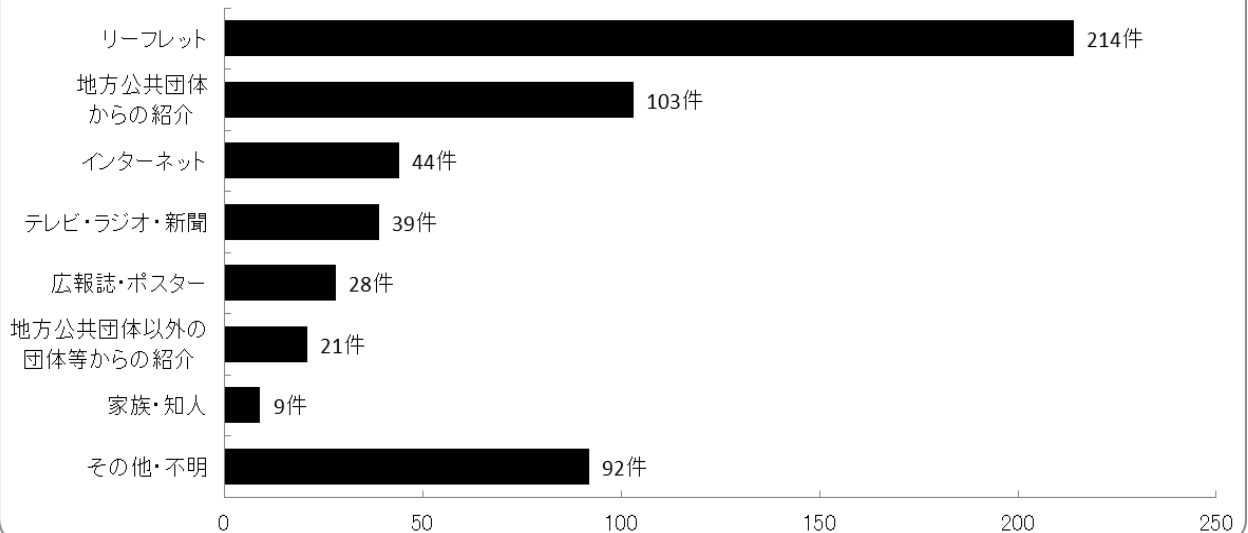
(1) 相談方法



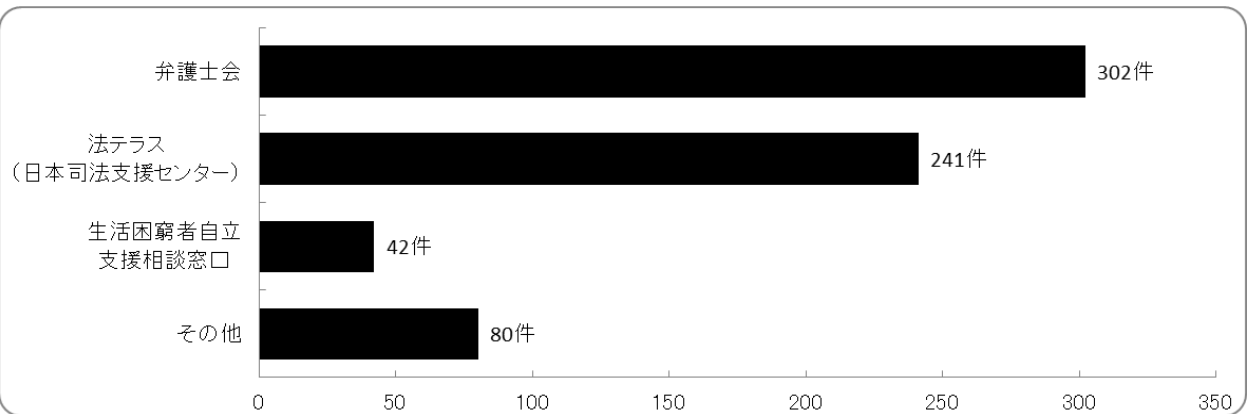
(2) 相談時間



(3) 相談のきっかけ

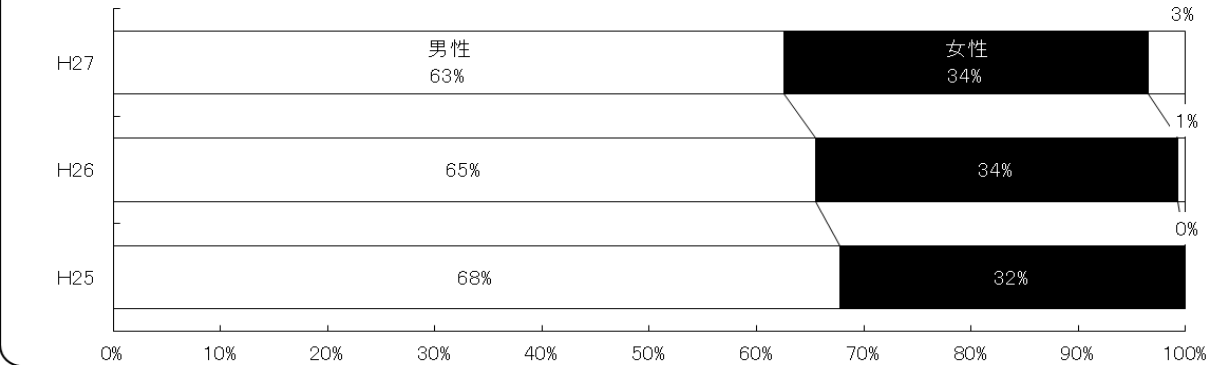


## 2. 弁護士会等への紹介件数（複数紹介あり）

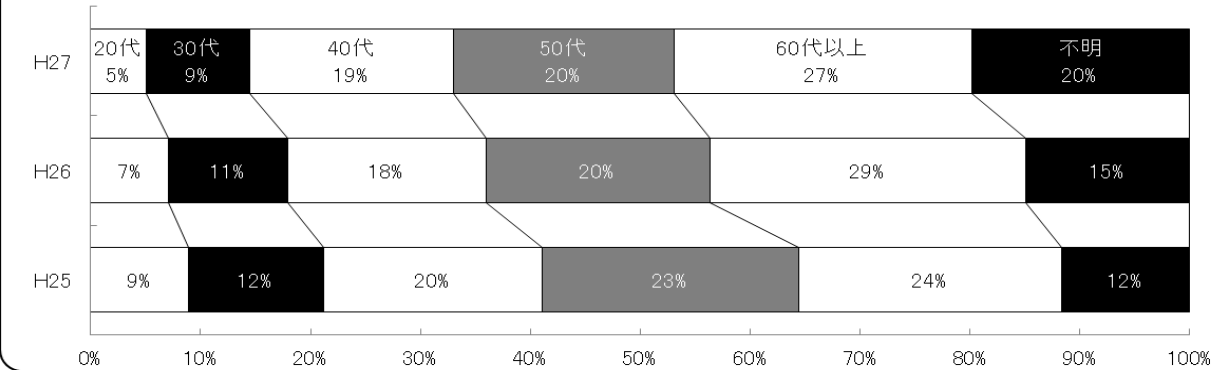


### 3. 相談者の性別・年齢等

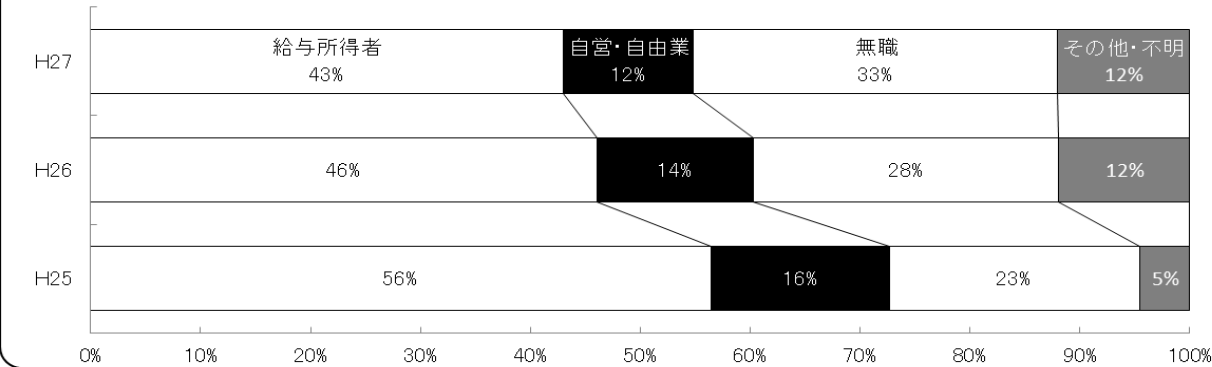
(1) 性別



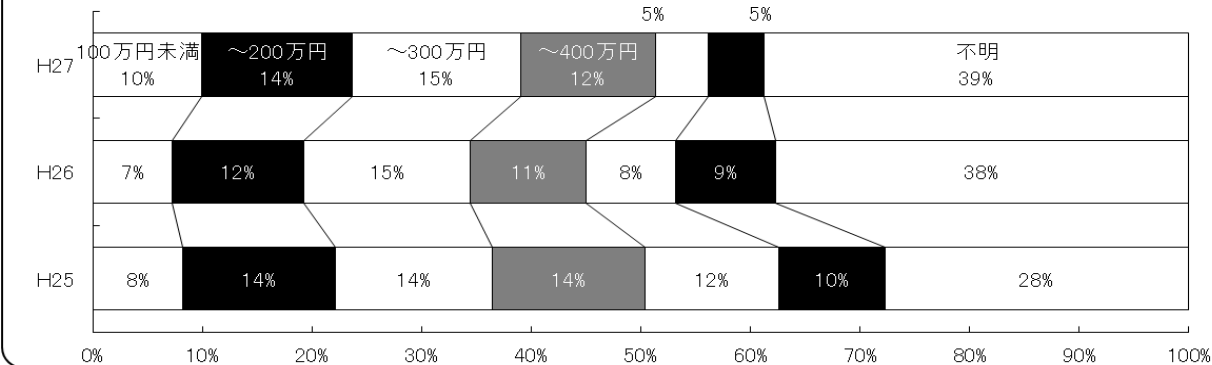
(2) 年齢



(3) 職業

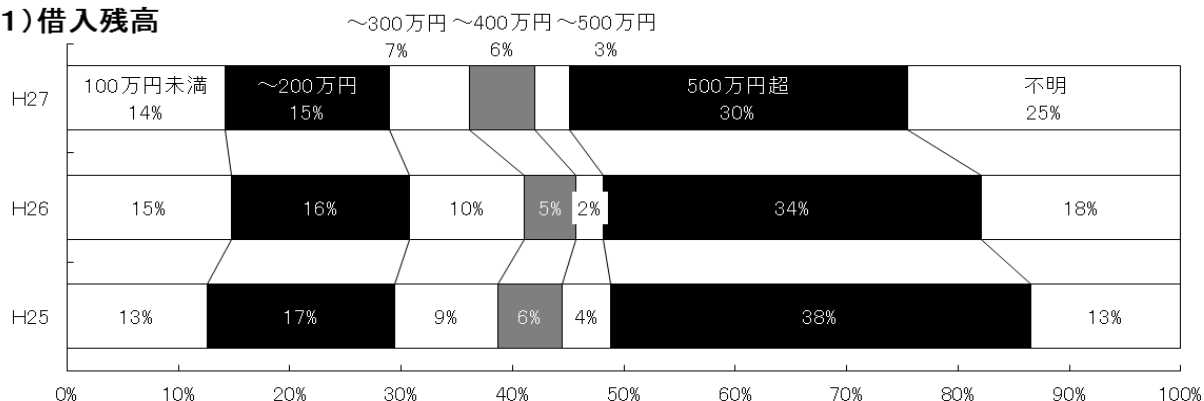


(4) 世帯年収

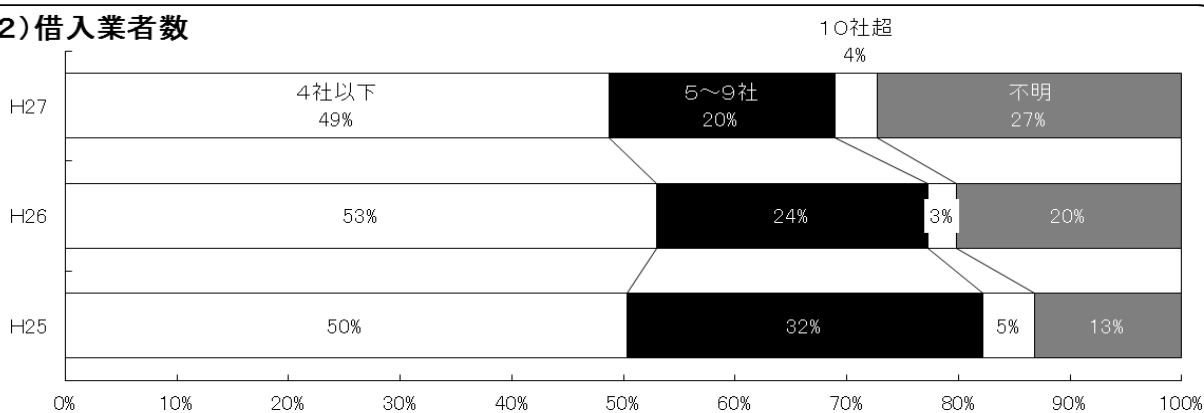


## 4. 相談者の借入状況

### (1) 借入残高



### (2) 借入業者数



### (3) 借入のきっかけ(複数回答あり)

